

校報

不動

創立 149 周年



矢巾町立不動小学校

令和4年7月4日

第6号

(文責：鷹嘴)



学び多き 修学旅行

6月23日(木)～24日(金)に6年生の修学旅行を実施しました。岩手県の県北から沿岸北部を1泊2日で見学してきました。世界遺産や三陸海岸を巡り、歴史や文化・自然そして震災について、学んできました。

<1日目>

修学旅行の最初の見学先の一戸町の世界遺産「御所野遺跡」は、北海道・北東北の縄文遺跡群の一つとして、2021年7月に世界遺産に登録されました。縄文時代中期後半(今から約5000年前から約4200年前)の集落跡と考えられており、当時の人々が暮らしていたらとされている、竪穴建物や掘立柱建物が復元されています。子どもたちは、この建物に実際に入ったり、展示されている土器や石器を見学したりして、太古の昔に思いをはせ、縄文時代について考えを深めました。



次に向かったのは、久慈市の「もぐらんぴあ水族館」です。トンネル水槽やふれあい水槽、クラゲ水槽などで多くの北三陸の魚の生態に触れることで、長時間のバス移動の疲れが癒やされました。思い出のお土産もたくさん購入しました。

1 日目の最後は、田野畑村の「机浜番屋群」です。かつては、地元の漁師さんが出漁の準備や養殖ワカメの出荷作業に使っていた場所で、平成 18 年には、「未来に残したい漁業漁村の歴史文化財百選」に選ばれました。しかし残念なことに東日本大震災の津波によって流失してしまいました。現在ある施設は、観光用として復元されたものです。ここでは、実際に机浜で採取した海水を煮詰め、フライパンで煎って塩作りを体験し、全員が 200g 程度の塩を作り、お土産として持ち帰りました。

<2日目>

ホテル羅賀荘でゆっくり休んで 2 日目の学習開始。宮古市の田老地区を訪れ「防災学習」に取り組みました。防潮堤に上がりガイドの話を知るとともに、津波遺構である「たろう観光ホテル」に実際に行き、ビデオを視聴することにより、東日本大震災で甚大な被害が出てしまった田老地区の現状を学び取りました。今後、沿岸地域の人たちの防災に対する思いを伝えていく活動を考えていきます。



浄土ヶ浜で瓶井に舌鼓を打った後は、修学旅行の最後を締めくくるパークランドです。一番楽しみにしていた子どもも多く、駆け足で次から次とアトラクションを渡り歩きました。

2 日間の修学旅行を無事終えて、たくさんの思い出とお土産を抱えて、家族の待つそれぞれの家に帰りました。修学旅行を通して学んだことを、これからの学習に生かして行ってほしいと思います。

なかよし学級奉仕作業

7月1日（金）に縦割り班ごとに教室の床磨きを行いました。1年生から6年生まで、洗剤をつけたナイロンたわしで一生懸命床をこすり汚れを落としました。最後は先生方でワックスを塗り、きれいな教室に生まれ変わりました。